



北中だより



<http://nk-kitanaka-j.la.coocan.jp/>

中野区立北中野中学校

★ iPad やスマートフォンの使い方、大丈夫ですか???

校長 津村 慶

12月4日の生徒朝礼の際に、生活指導主任の岩淵先生からiPadの使い方について話がありました。各学年の学級委員会や生活委員会で「学校生活の中でiPadに関するルールが守られず、良くない使い方をしている人が増えている」という心配を受けてのことです。

実例として、誰かの写真を撮ってその写真を加工して楽しんでいる、授業中にインターネットで調べの際に指示されたこととまったく関係ないサイトを見て楽しんでいる、無料でできるゲームを見つけて休み時間や酷いときには授業中にも隠れてゲームをやっているというものでした。中には、画面やインターネットのタブを複数立ち上げて、先生が来るとサッと切り替えて、遊んでいることがバレないようにしている生徒もいるといった、非常に残念な話でした。

岩淵先生からは「皆さんが使っているiPadは学習用端末です。より効果的に学習を進めるために貸し出されている文房具ですよ。それなのに、勉強とはまったく関係ない悪ふざけや遊びに使っている人がいる。しかも、授業中にまで。こんなことでいいんですか？これが本当に中学生のやることなんですか？」という問いかけもありました。「保護者の方からは、何度注意してもYouTubeを見るのを止めないから、もう取り上げて家に持ち帰れないようにしてください、というご意見までいただいています。確かにiPadがなくなれば、問題も起きなくなります。でもiPadが悪いんですか？iPadそのものが悪いのではなくて、悪いのは皆さんの使い方の方ですよ？」

いつもは穏やかに優しく話す岩淵先生ですが、初めて聞くような強い口調で話をしたのは、それだけこの問題を皆さんに真剣に考えてほしいからです。全体から見れば、一部のわずかな人たちがやっていることで、他の大部分の人たちは本来の目的を理解した正しい使い方できています。しかし、ほんの一部の人たちであっても上に書いたような使い方をしているのを見過ごすことはできません。その人たちのiPadを取り上げて、使えないようにすればいいのでしょうか。先生方から強制的に制限されなければ止められないとしたら、中学生として非常に恥ずかしく、情けないですね。iPadは上手に使える、生活をより便利にし、多くのことが簡単にできるようになります。しかし、間違った使い方をすると、他人を傷つける道具にもなるし自分自身をだめにしてしまう不要物にもなります。そんなことは中学生ならば当然わかっているはずなのに、欲望や軽はずみな行動に歯止めをかけられず、自分にとってマイナスになる使い方をし、次第にそれを繰り返すようになっていく。このことは学校で使っているiPadについてだけではありません。家で自分専用のスマートフォンやパソコン等がある人はそれらについても言えることです。繰り返しますが、スマホやパソコン、インターネットが悪いのではなく、誤った使い方や長時間の過度な使用を止められないその人自身の問題です。

明日から14日間に渡る冬休みが始まります。自由な時間が増えるということは、その時間を有効に使える人にとってはチャンスですが、無駄に過ごしてしまう人にとっては墮落した生活になってしまう危険があります。また年末年始は、家族や親戚と過ごす時間を大切にしてほしいですし、自由な時間は自分にとってプラスになることに使うべきです。

1年が終わり新しい年が始まるという節目の時に、もう一度自分自身を振り返って、将来の成長に繋がるような時間の過ごし方ができるようになりましょう。

最後に、昨年度の「北中だより2月号」に掲載したスマートフォンやiPadの危険性に関する文章を4面に再掲します。1年生にはぜひ読んでほしいですし、2・3年生は今回の件を受けてもう一度意識してほしいと思っています。便利な機器を、自分を向上させるために使いこなせるように。

白鷺保育園との交流事業を始めました!!

今年度からの新たな取り組みとして11月21日にAB組、12月5日にCD組と2回に分けて白鷺保育園の園児の皆さんをお招きし、中学校1年生とのふれあい体験学習を行いました。3歳児から5歳児までの園児と中学生が3つのグループに分かれて体育館で交流体験を行いました。始めは緊張気味だった園児も「じゃんけん列車」で少しずつ中学生に慣れ、その後は折り紙遊び(3歳児)、わらべうたの振り付け遊びと転がしドッジボール(4歳児)、ドッジボール大会(5歳児)で“お兄さん、お姉さん”と楽しく遊びました。最後は中学生が合唱コンクールの課題曲「カリブ夢の旅」をプレゼントとして歌い、ふれあい体験学習を終えました。園児たちは中学生とハイタッチをしながら見送りのアーチをくぐって楽しそうに北中を後にしました。

本校では今後、1年次の保育園児とのふれあい体験学習、2年次の幼稚園や保育園等での職場体験学習、3年次の幼稚園での保育実習を系統的に行うことで、中野区の進める保幼小中連携教育の充実を図るとともに、優しさや思いやりの心と生命尊重や人間愛の精神を育み、生徒の自尊感情や自己肯定感の涵養に繋げていきます。



「保育園児とのふれあい体験感想」(一部抜粋)

◇自分よりも小さい子への気の遣い方や接し方など、普通だったら学ぶことのないことを学ぶことができ良かったです。

◇昔は僕も今日の園児たちと同じ立ち位置にいた。

昔は支えられる側だったけど、今は支える側だと思い、自分も成長したのだと思った。

◇今回のふれあい体験で、笑顔で接することの大切さがわかりました。最初は緊張している子もいたけれど、笑顔で遊んでいくうちに、顔が明るくなって、とても楽しそうに遊んでいました。

◇ふれあい体験を通して、年齢が大きく離れている人に対する距離感が縮まったと感じました。

◇始めは緊張していて、ちゃんと話せるか不安だったけど、最後は自分も園児も、楽しく充実した時間だったと思いました。次はもっと楽しませることができるようになりたいです。

◇気を遣わないと拗ねてしまったり、言ったことを聞かないこともしばしばありました。けれど、自分も昔はこんな感じだったのかと考えると、なぜか変な気持ちでいっぱいです。親がここまで育ててくれたことを感謝しなければいけないと思いました。

◇短い時間だったけど、園児と触れ合うのはとても楽しかったので「保育士」という職業への興味関心が深まったと感じました。

◇弟や妹がいないからこういう体験は初めてでしたが(弟や妹が)欲しいなあと思いました。



3年生が保育実習を行いました!!

3年生が11月27日から30日までの4日間、クラスごとにかみさぎ幼稚園を訪れて、家庭科の保育実習を行いました。始めに副園長先生から、園児と交流する上での注意事項をうかがい、いよいよ園児との対面です。最初は中学生3~4人のグループに園児1~2人が入っての交流で、名前を確認してから好きな遊びを聞いたり、手の大きさを比べたりして園児と仲良くなりました。その後は絵本の読み聞かせをしながら徐々に慣れていき「キンダーポルカ」や「タタロチカ」、「リトル・バード」といったダンスと一緒に踊って盛り上がりました。最後には園児が全員で歌のプレゼントをしてくれました。

初めは緊張気味だった園児たちもすぐに慣れて楽しそうに遊び始め、中学生も園児と視線の高さを合わせるように低くかがんだ姿勢で接しながら、とても優しい表情で語りかけていました。



地域清掃ボランティアに多くの生徒が参加!!

11月28日、12月9日、12月18日、3回に分けて学年ごとに地域清掃ボランティアによる落ち葉掃きを行いました。昨年度までは朝の始業前に実施していましたが「朝では参加しづらい」という声を受けて、今年から放課後の実施に変更しました。初日の2年生は79名、2日目の3年生は49名、最終日の1年生は84名が参加し、全校で212名の生徒が学校周辺の道路や校地内の落ち葉を集めました。緑の多い北中野中はその分落ち葉も多く、用務主事の方々が毎日清掃していても追いつかないほどですが、大勢の生徒が協力してくれたおかげで随分すっきりしました。地域や他の人のために行動できる精神は人としてとても大切です。様々な場面で積極的に行動できる力を更に伸ばしてほしいと思っています。



★iPad やスマホに操られていませんか？

学校生活における iPad の活用はすっかり日常的になりました。学習はもちろん、委員会や係活動、行事や部活動の他、ちょっとした連絡やお知らせなどさまざまな場面で皆さんの生活を便利かつ効率的にしてくれています。一方で保護者の方からは「インターネットや YouTube ばかり見ている」「家ではゲームばかりで、ほとんど勉強しない」といった心配の声がよく聞かれます。



インターネットや YouTube、ゲームには、さまざまな情報を簡単に引き出し、楽しい気分やストレス解消に役立つといったメリットがあります。生活の中でそれらを上手に利用していくのは良いことですが、のめりこんで長時間ハマってしまったり、他のやらなければならないことができなくなってしまうことは大きな問題です。

YouTube は動画を見るのと同じような内容の動画や以前に見た動画の関連作品が表示される仕組みになっていて、脳が次々と他の動画を見たくなるようにつくられています。ゲームも同様で、自分の力を少し上回る相手が現れ、何回か挑戦することで相手を倒すことができたり、より強力なアイテムを手に入れることで、できなかったことができるようになったりするなど、一度始めるとなかなか止められないように設計されています。最近、流行しているオンラインゲームでは1回のプレイ時間が長くなったうえ、多くの人に参加するためゲームの世界から抜けることが難しく、より長時間続けてしまう傾向が強くなっています。これらはアルコールやギャンブルと同様に依存性があるものです。

長時間のゲームやスマホが健康に与える悪影響も無視はできません。生活リズムの乱れや睡眠不足による集中力の低下、視力低下や眼精疲労による「スマホ老眼」、肩こりや腰痛、体力低下などは、身体の基礎を築く成長期の中学生にとっては一生に関わる深刻な問題です。また、ゲームやインターネットをやりすぎると、脳の機能の一部が低下して、イライラしやすくなる、やる気が出ない、うつ状態になりやすくなるといった影響も科学的に証明されています。

一度始めるとなかなかやめることができず、健康にも悪影響が多いことから、Windows を開発した Microsoft 社のビル・ゲイツ氏や iPhone を開発した Apple 社のスティーブ・ジョブズ氏はともに、自分の子どもには触らせなかったという有名な話もあります。

皆さんが毎日使っている iPad は本来、学習に役立て、生活をより便利にするために貸し出しているものです。今年の冬休みからインターネットの接続制限をかけましたが、夜中に使用しないことはもちろん、それ以外の時間帯でも長時間使用することがないように気をつけることが大切です。寝る1時間前には使わない、枕元に端末を置かない、娯楽で使用するときは止める時間を決めるなど、便利な道具やコンテンツを、その裏に隠された危険性を十分に理解して、上手に使っていけるようになりましょう。



保護者の皆様へ

今年も残り一週間を切りました。これまでの教育活動へのご理解とご協力はもとより、お子様の体調管理やご家庭でのご指導にもたいへん感謝しております。どうぞ良いお年をお迎えください。

12月28日から1月3日まで学校は留守番電話に切り替わり、職員は不在となります。緊急の要件については、中野区役所にご連絡くださいますようお願いいたします。中野区役所:03-3389-1111